



● 大学入学共通テストが実施されました

1月17日(土)、18日(日)の2日間にわたり、大学入学共通テストが行われました。今年は約49万人が受験した日本最大級の試験です。国公立大学はもちろん、私立大学でもこの試験を利用して入試を実施している大学が多数あります。本校では、普通科から18名が受験しました。そこで今号は大学入試について特集します。

共通テスト全国平均点(大学入試センター中間発表)

科目	全国平均
国語	116.08
地理総合、地理探究	64.18
歴史総合、日本史探究	64.18
公共、政治・経済	65.94
地理総合	24.98
歴史総合	25.25
公共	29.30
数学Ⅰ、数学A	50.58
数学Ⅱ、数学B、数学C	58.88
化学基礎	30.24
生物基礎	37.67
地学基礎	29.28
化学	59.57
生物	56.67
英語(リーディング)	64.80
英語(リスニング)	56.42
情報Ⅰ	59.76

● 高1・高2から始まる! 大学入試への第1歩

『受験は高3からじゃない!』大学入試は高校3年生だけのものではありません。高1・高2での過ごし方が、進路の選択肢を大きく広げます。大学入試についてきちんと知り、早めのスタートを!

STEP1 大学入試の基本スケジュールを確認しておこう。今、自分はどこにいる?

高校1年生

- ・学習習慣の定着
- ・文理選択を意識し始める
- ・オープンキャンパス情報をチェック

高校2年生

- ・文系・理系の決定
- ・志望分野・学部を調べる
- ・模試を進路選択に活用

高校3年生

【4~6月】進路決定の時期

- ・志望大学・学部を最終的に考える
- ・入試方式(一般/推薦/総合型)を考える
- ・模試の結果を使って実力を確認
- ☞ この時期は「受験勉強の土台作り」
- ☞ 苦手科目をはっきりさせることが重要

【7~8月】夏休み=最大の勝負どころ

- ・1・2年生の内容を総復習
- ・基礎固めを徹底する
- ・長時間学習に慣れる
- ☞ 夏休みの努力が秋以降の伸びを決める
- ☞ 「夏を制する者が受験を制する」

【9~10月】入試本番が見え始める

- ・志望校をほぼ確定させる
- ・過去問に少しずつ取り組み始める
- ・推薦型・総合型選抜の出願準備
- ☞ 「入試を意識した勉強」に変わる
- ☞ 志望理由書、面接対策が始まる人も

【11~12月】実戦力を高める時期

- ・共通テスト対策を本格化
- ・過去問演習を繰り返す
- ・時間配分や解く順番を確認
- ☞ 点数を安定させることが目標

【1月】大学入学共通テスト

- ・共通テスト本番
- ・自己採点を行い、出願校を検討
- ☞ 結果をもとに、国公立・私立の出願を決める
- ☞ 冷静な判断が大切

【2~3月】個別試験・合格発表

- ・私立大学入試
- ・国公立大学 二次試験
- ・合格発表
- ☞ 最後まであきらめない姿勢が必要

STEP2 大学入試の選抜方式を整理しよう。 ☞ どの入試でも、高1・高2の積み重ねが評価対象!

◇ 一般選抜

- ・学力試験中心
- ・共通テスト+大学別試験など

◇ 学校推薦型選抜

- ・評定平均や活動実績が重要
- ・高1・高2の成績が大きく影響

◇ 総合型選抜

- ・志望理由書・面接・活動実績
- ・「何をしてきたか」「何を学びたいか」が問われる

STEP3 今からできる! ✎ 高1・高2生へのアドバイス

✎ 勉強面

- ・定期テストを全力で取り組む
- ・苦手科目を放置しない
- ・模試は「復習」が一番大事
- ・入試に活用できる資格を取得する

✎ 情報収集

- ・大学のホームページを見る
- ・オープンキャンパスに参加する
- ・先生や先輩に相談する

✎ 生活面

- ・部活動や行事にも本気で取り組む
- ・体調管理・生活リズムを整える

【編集後記】

1月号では、1年後、2年後の入試に向けて今からできること、今からすべきことについて取り上げました。自分の進路は、自身の毎日の積み重ねの先に見えてくるものです。

📅 今後の予定(1月から2月)

- 1月27日~30日 3学年学年末試験
- 2月 1日 全商商業経済検定
- 2月 6日 進路体験報告会
- 2月 7日 2年2月マーク模試
- 2月12日 就職支援セミナー
- 2月18日 進路相談会